

カメラが捉えた衝撃映像

ブラザー興業 株式会社 原 島 光 央

皆さんはネズミ駆除の現場で全くの想定外・目を疑うといった経験はおありでしょうか？
ペストコントロールのプロとして想定外などあってはならないとお叱りを受けるかもしれません。
経験を積み重ねて、どんな現場でも想定外などなくせるよう精進したいと思います。

・・・が！ネズミ駆除の現場は本当に千差万別です。

建物の大きさ、築年数、構造の違いはもちろんのこと、住んでいる人や周辺環境によっても全く異なった見積金額になります。

シロアリやゴキブリ、スズメバチなどは電話やメールでもおおよその金額は伝えることができますが、ネズミに関しては実際に現場を見なければいけません。

安易に金額を伝えてしまい、実際に見た現場の困難さから当初伝えた金額を大幅に上回るようなことがあっては、悪徳業者との印象を持たれかねません。

しかしながら、実際に現場を見て見積もりを出したとしても、想定外のことが多く起こるのもネズミ駆除の現場が一番多いのではないのでしょうか。

ネズミやハクビシン等の害獣防除の場合、皆さんトレイルカメラを使用して行動や侵入・生息の有無を確認していると思います。

カメラを使わず、無毒餌の喫食の有無のみで生息の有無を判断することはできません。

天井裏にヒマワリの種や米など様々な無毒餌を置いて、2週間後に確認したら全く喫食形跡がない。しかしカメラにはクマネズミの成獣が行ったり来たりする様子が…などはよくあることです。

カメラは時に衝撃的な映像を記録しますので、必ず設置することをお勧めします。

とある住宅の床下でドブネズミの糞が確認されたため、駆除作業に入りました。

圧殺式トラップ、皆さん使用しているお馴染みのパチンコを床下に設置しました。

餌はドブネズミの好きな唐揚げを使用しました。

翌日、確認するとパチンコが作動しており、唐揚げが横に落ちていました。

この場合、考えられることはパチンコが何かのはずみで作動してしまったか、ネズミにうまく当たらず不発に終わったかだと思います。



皆さん経験していると思いますが、このパチンコは仕掛けるひっかけ部分が微妙なバランスで成り立っているため、誤作動がよく起こります。

念のためカメラを確認すると、想定外の映像が記録されていました。

パチンコに近づくドブネズミが映っています。



唐揚げに食いつくドブネズミが映っています。
見事にパチンコが作動している様子が映っています。
しかしここから驚きの映像が記録されていました。
どう見ても首にヒットして即死に見えますが、時間を確認すると4秒後、



全身のばねを使ってパチンコから脱出してしまいました。



そのまま奥に逃げていき、後には作動したパチンコと唐揚げが残されていました。
カメラを設置していなかったら、この状況をどう判断したでしょうか？
ちなみにパチンコは未使用の新品です。
即死させることができるトラップだと思い込んでいましたが、毒餌に耐性を持つスーパーラット以外にも、身体的なスーパーラットもいるのかと驚きました。

このネズミがどうなったかという、四日後のカメラに姿が映っていました。



再びパチンコに設置された唐揚げを食べようとして…



パチンコは作動しますが体をかすめた程度で、またもや逃げられてしまいました。
身体的な強さと強運を持ったネズミでした。
その後はパチンコには近づかなくなってしまい、結局殺鼠剤投入と閉塞で作業は完了しました。

何の変哲もない現場と思われても、意外と想定外のことが起こるのも防除作業の面白いところではないでしょうか。

害獣以外でもシロアリ、ハチ、ゴキブリなどの害虫防除の現場でも面白い写真や映像を記録できるようにカメラを携えて臨みたいと思います。